

## 日本社会薬学会第32年会 プログラム

### 一般用医薬品のネット販売について

10月13日(日) 9:30-11:00 講義棟 第1教室

座長: 寺岡 章雄(常任幹事)

- 1 一般用医薬品のインターネット販売に対する学会見解
- 2 「ネット販売」議論の経緯と経過:そして我々は?

- 宮本 法子 (日本社会薬学会 会長)
- 鈴木 順子 (北里大学薬学部 社会薬学部門)

### 会員総会

10月13日(日) 11:00-11:30 講義棟 第1教室

### 第32年会長挨拶

10月13日(日) 12:10-12:25 講義棟 第1教室

第32年会長挨拶

演者: 串田 一樹(昭和薬科大学)

### 特別講演

10月13日(日) 16:30-17:30 講義棟 第1教室

座長: 高橋 洋一(日の出薬局)

特別講演1 「病院の世紀から地域の世紀へ」

演者: 猪飼 周平(一橋大学大学院)

10月14日(月) 12:45-13:30 講義棟 第1教室

座長: 齋藤 俊昭(青森大学薬学部)

特別講演2 「医薬品の安全性に対する取り組みと課題

—医薬品の評価情報基盤構築と人材育成に向けて—

演者: 山本 美智子(昭和薬科大学)

### 招待講演

10月13日(日) 12:25-13:00 講義棟 第1教室

座長: 舟越 亮寛(大船中央病院)

招待講演 「私とオリンピック -これからの夢-

演者: 松島 美菜(日本大学薬学部 5年生)

シンポジウム

10月13日(日) 14:00-16:30 第2講義棟 201 教室

シンポジウム1 「薬学生と薬剤師の未来を拓く英語力」

座長：堀内 正子(昭和薬科大学)

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| S1-1 開催趣旨                                   | ○堀内 正子(昭和薬科大学 英語研究室)    |
| S1-2 国際的な医薬品開発に求められる薬剤師の英語力                 | ○牛田 等(第一三共(株) アジア開発部)   |
| S1-3 臨床現場における医薬品情報の受信・発信のツールとしての英語力の重要性     | ○山本 武人(東京大学医学部附属病院・薬剤部) |
| S1-4 これからの薬剤師に求められる英語力とは                    | ○後町 陽子(北原国際病院 薬剤科)      |
| S1-5 私と英語 『英語を学ぶこと、使うこと』                    | ○山西 絵利加(昭和薬科大学 6年生)     |
| S1-6 大学薬学英语教育担当者からの提言                       | ○西村 月満(日本医学英語教育学会)      |
| S1-7 6年制薬学教育における「(薬学)英語」の現状と問題点<br>—未来に向けて— | ○金子 利雄(日本大学薬学部 英語研究室)   |
| S1-8 英語を駆使して世界にはばたこう                        | ○井原 久美子(昭和薬科大学 非常勤)     |

10月14日(月) 10:00-12:15 第2講義棟 201 教室

シンポジウム2 「在宅緩和ケアの推進と課題 —薬剤師の役割とは—」

座長：白石丈也(けや木薬局)

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| S2-1 開催趣旨  | ○串田 一樹(昭和薬科大学)                      |
| S2-2 地域緩和ケアにおける薬剤師の役割                            | ○川越 厚(クリニック川越・院長)                   |
| S2-3 在宅医療を支える医薬品の提供について<br>—がん緩和医療における医療用麻薬の供給—  | ○前田 桂吾(フロンティア薬局)                    |
| S2-4 在宅緩和ケアの推進のために病院が果たすべき役割と<br>在宅緩和ケア専門チームへの期待 | ○西川 満則(国立長寿医療研究センター エンドオブライフケアチーム)  |
| S2-5 終末期医療を支える多職種チームの役割                          | ○横江 由理子(国立長寿医療研究センター エンドオブライフケアチーム) |

10月14日(月) 10:00-12:15 第2講義棟 202 教室

シンポジウム3 「障がい児・者における薬学的管理の必要性—病棟加算算定へ向けて—」

座長：相田 文彦(希望の家療育病院)

海老原 毅(心身障害児総合医療療育センター)

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| S3-1 開催趣旨   | ○海老原 毅(心身障害児総合医療療育センター 薬剤科) |
| S3-2 障がい児・者における薬学的管理の必要性                                  | ○海老原 毅(心身障害児総合医療療育センター 薬剤科) |
| S3-3 病棟は我々薬剤師に「何」を求めているのか？<br>—重心施設での7年間の薬剤管理指導業務を通じて—    | ○本間 純也(美幌療育病院)              |
| S3-4 障がい児・者の薬学的管理は特別なもの！？<br>—障害者施設で病棟薬剤業務実施加算が取れないのはなぜ？— | ○倉本 敦夫(東京都立府中療育センター)        |
| S3-5 薬剤師による情報提供の考え直し                                      | ○大野 能之(東京大学医学部附属病院)         |

- S3-6 障がい児とのふれあいを通してー薬学生の視点からー ○岩間 創,天野 千春,岩穴 直美,川田 侑奈,  
古野 桜子,三觜 彩乃,平澤 伸一郎,堀井 孝太,  
都島千秋,森元 将郎,串田一樹(昭和薬科大学)
- S3-7 診療報酬と重心施設薬剤師 ○長江 秀成(愛知県青い鳥医療福祉センター)

10月14日(月) 13:30-15:30 講義棟 第1教室

**支部シンポジウム「社会薬学教育の推進に向けてー私たちの教育実践ー」**

座長: 鈴木 順子(北里大学薬学部)

岸野 亨(埼玉医科大学総合医療センター)

- S4-1 薬学教育モデル・コアカリキュラムと社会薬学教育:  
北海道薬科大学での「C-18 薬学と社会」の教育の現状 ○櫻井 秀彦(北海道薬科大学 社会薬学系薬事  
管理学分野)
- S4-2 薬学教育モデル・コアカリキュラムと社会薬学教育  
ー名城大学薬学部の社会薬学教育ー ○飯田 耕太郎 (名城大学薬学部)
- S4-3 薬学教育モデル・コアカリキュラムと社会薬学教育 ○秋山 伸二 (松山大学薬学部)
- S4-4 九州支部会員所属大学における社会薬学教育の現状 ○吉武 毅人 (第一薬科大学 臨床薬学講座 社会  
薬学分野)

**ワークショップ**

10月13日(日) 14:00-16:30 第2講義棟 202教室

主催: 一般社団法人日本薬学生連盟 薬学教育委員会

**ワークショップ1「薬学生が考える薬学教育」**

座長: 飯塚 千亜希(一般社団法人日本薬学生連盟 薬学教育委員長・慶應義塾大学2年)

座長: 小林 大翼 (一般社団法人日本薬学生連盟 代表・慶應義塾大学6年)

**基調講演 「薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂について」**

演者: 日下部 吉男(文部科学省高等教育局 医学教育課)

- WS1 開催趣旨 ○飯塚 千亜希(一般社団法人日本薬学生連盟  
薬学教育委員長,慶應義塾大学2年)

10月13日(日) 14:00-16:30 第2講義棟 301教室

**ワークショップ2「処方せんの調整から始まる在宅医療への第一歩」**

WS2 開催趣旨

10月14日(月) 10:00-12:15 第2講義棟 301教室

**ワークショップ3「論文を投稿しませんか」**

WS3 開催趣旨 編集委員会 第32年会実行委員会

一般演題

10月13日(日) 11:00 - 10月14日(月) 14:30

第2講義棟 4階・5階中ゼミ室

ポスター示説 奇数番号 10月13日(日) 13:00-14:00

偶数番号 10月14日(月) 9:00-10:00

I: 教育に関する分野

- P1 薬局薬剤師を対象とした感染対策に関するゲーム教材の開発  
○川村 ひとみ, 岸本 桂子(慶應義塾大学薬学部社会薬学講座), 松田 俊之(独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院薬剤部), 福島 紀子(慶應義塾大学薬学部社会薬学講座)
- P2 松山大学で薬学部と文系学部の学生が同時に受講する薬学史の授業における問題点の認識とその改善の試み  
○牧 純, 関谷 洋志, 小西 みちる, 多田 友美, 三木 悠平, 玉井 栄治(松山大学薬学部生体環境薬学講座 感染症学), 田邊 知孝, 舟橋 達也(松山大学薬学部生体環境薬学講座 衛生化学), 秋山 伸二(松山大学薬学部臨床薬学教育研究センター 臨床薬学)
- P3 糖尿病患者への服薬指導のための動物実験を用いたPBL テュートリアルの効果  
○山越 美幸, 稲葉 二郎(東京薬科大学薬学部 薬学基礎実習教育センター)
- P4 6年制薬剤師国家試験から見える次世代の求められる薬剤師像について～現役薬剤師と薬学生が考える薬剤師像とは～  
○坂口 努, 若林 丈裕, 横井 宏哉, 唄手 昭人, 小柳 美穂, 大内 邦弘, 今吉 奈穂, 曾根 大樹, 村上 理, 木暮 喜久子(学校法人 医学アカデミー 薬学ゼミナール)
- P5 薬学生の社会貢献活動に関する考察  
○土屋 明美, 大野 尚仁(東京薬科大学 薬学部)
- P6 在宅医療推進のための DVD 教材の作成とその学習効果  
○福島 紀子, 川合 由紀, 岸本 桂子(慶應義塾大学薬学部), 高橋 眞生(カネマタ薬局)
- P7 薬局実務実習施設からの質問内容とその対応について  
○中村 英里, 下平 秀夫, 渡部 多真紀, 村上 勲, 齋藤 百枝美, 渡辺 茂和, 土屋 雅勇(帝京大学薬学部)
- P8 フィジカルアセスメント研修における参加者の技能習得度と受講後の意識レベルの変化について  
○隅田 師玄, 今井 敬司, 三木 健義, 宮崎 剛(東邦薬品(株)), 下田 英輔, 潮田 敏之(ファーマクラスター(株)), 小澤 秀樹, 亀井 美穂, 石崎 清華(東海大学医学部附属病院), 串田 一樹(昭和薬科大学)
- P9 フィジカルアセスメント実習導入における検討  
○秋山 伸二, 酒井 郁也, 山口 巧, 柴田 和彦, 相良 英憲, 高取 真吾, 川崎 博己, 出石 文男, 難波 弘行(松山大学薬学部 臨床薬学教育研究センター)
- P10 バイタルサイン研修受講後の薬剤師からみた薬学教育の必要項目  
○長谷川 フジ子(国際医療福祉大学大学院 薬学研究科, 株式会社スズケン), 狭間 研至(ファルメディコ株式会社, 一般社団法人日本在宅薬学会), 池田 俊也(国際医療福祉大学大学院 薬学研究科)

- P11 6年制薬学教育の新たな挑戦—離島医療を通して学んだ薬剤師のあり方—  
○天野 千春, 岩間 創, 大石 弘貴, 古野 桜子(昭和薬科大学), 畑田 崇(名瀬徳洲会病院), 宮坂 善之, 仲鉢 英夫(湘南鎌倉総合病院), 下見 香菜子(喜界徳洲会病院), 伊東 智子(瀬戸内徳洲会病院), 串田 一樹(昭和薬科大学)
- P12 事前実務実習における学生の理解度の関連要因に関する検討  
○戸張 裕子, 三溝 和男(東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター)
- P13 eラーニングによる薬剤師生涯研修プログラムの研究  
○伊藤 要一, 遠藤 浩良, 平野 裕幸, 高橋 俊雄, 小林 真紀子, 岡野 辰雄, 程田 康裕(特定非営利活動法人 医療教育研究所)

## II: 薬剤師業務に関する分野

- P14 精神疾患患者理解の共有化と薬剤師の「役割」(第64報)～治療戦略用、教育研修用ツールとしての「回復指数式」～  
○石田 悟(津軽保健生活協同組合 藤代健生病院), 佐生 明雄(北海道保健企画 西区ひまわり薬局)
- P15 授乳婦に関する一般用医薬品の適正使用に向けた取り組み—外箱表示の実態—  
○三科 興太, 柳岡 祐治, 品川 敬之, 杉浦 伸哉(株式会社スギ薬局)
- P16 調剤薬局における待ち時間予測に関する検討  
○吉田 健, 小武家 優子, 吉武 毅人(第一薬科大学 臨床薬学講座 社会薬学分野)
- P17 がん薬物療法認定薬剤師の分布調査とストラクチャー評価としての可能性  
○逸見 佳代(徳永薬局株式会社)
- P18 薬局での服薬指導における情報授受の課題—骨粗鬆症患者—薬剤師間の意識比較による検証  
○中野 翔太, 恩田 光子, 福島 修輝, 川口 祐司, 鳥飼 明生, 藤井 真吾, 田中 有香, 荒川 行生(大阪薬科大学 臨床実践薬学研究室), 早瀬 幸俊, 櫻井 秀彦(北海道薬科大学 薬事管理学分野)
- P19 抗うつ薬を処方された患者に対する服薬指導の現状と今後の可能性  
○渡邊 文之, 佐々木 真緒, 亀井 美和子(日本大学 薬学部)
- P20 PTP自動ピッキング機導入による調剤業務の効率化—薬剤師に期待される本質的業務を充実する為に—  
○藤崎 玲子, 藤田 茂起, 飯塚 敏美, 堀口 雅巳, 石塚 英夫(望星薬局)
- P21 一般市民の医療用麻薬に対する誤解とその要因解明に関する予備的研究  
○諸橋 賢人, 岸本 桂子(慶應義塾大学 薬学部 社会薬学講座), 轡 基治(うえまつ調剤薬局), 金子 健(慶應義塾大学病院 薬剤部), 福島 紀子(慶應義塾大学 薬学部 社会薬学講座)
- P22 OTC対面販売における薬剤師・登録販売者の能力向上を図るツール  
○川口 祐司, 恩田 光子, 中野 翔太, 山根 有香子, 中 雄介, 庄司 雅紀, 荒川 行生(大阪薬科大学 臨床実践薬学研究室)
- P23 前立腺肥大治療における $\alpha$ 1遮断薬の服薬アドヒアランスに関する後ろ向きコホート調査 第2報  
○田代 康壽貴(まごころ薬局 菊川店), 新納 靖典(まごころ薬局 道原店), 米田 博文(まごころ薬局 菊川店), 串田 一樹(昭和薬科大学)

- P24 薬局での服薬指導における情報授受の課題  
糖尿病患者－薬剤師間の意識比較による検証  
○福島 修輝, 恩田 光子, 中野 翔太, 庄司 雅紀,  
田中 有香, 荒川 行生(大阪薬科大学 臨床実践薬学  
研究室), 早瀬 幸俊, 櫻井 秀彦(北海道薬科大学 薬事  
管理学分野)
- P25 戦後日本における薬剤師の職能の変化の要因－  
ファーマシューティカルケアがなぜ薬剤師の行動哲学と  
なったのか－  
○赤木 佳寿子(一橋大学大学院社会学研究科博士後期  
課程)
- P26 英語版医薬品情報提供書発行システムの運用状況と  
課題  
○宮本 菜摘, 近藤 雅子, 前嶋 早紀, 井上 幹雄  
(アイン薬局大手町店)
- P27 臨床 data からの処方設計評価  
○中村 久美, 白澤 吉哲(社会医療法人財団慈泉会  
相澤病院)
- P28 ドラッグストアにおける OTC 薬販売時の薬剤師と登録  
販売者の対応に関する比較調査  
○大久保 文恵, 櫻井 秀彦, 村上 美穂, 野呂瀬 崇彦  
(北海道薬科大学 薬事管理学分野)
- P29 療養病棟における病棟薬剤業務への試み～病棟配置  
業務に向けて  
○辻 圭子(東京医療生活協同組合中野総病院薬剤科)
- P30 口腔内崩壊錠の崩壊性に関する製剤間比較  
倉田 なおみ, 小林 広典, 小林 万里子, 佐藤 佑梨,  
○佐野 英里子, 村山 信浩, 中村 明弘(昭和大学  
薬学部薬物療法学講座薬剤学部門)
- P31 薬局を拠点とした女性の健康に関する相談支援～相談  
の実態と薬剤師の意識～  
○千村 史子(東京薬科大学薬学部), 山田 純一(八王子  
薬剤師会), 山田 哲也, 宮本 法子(東京薬科大学  
薬学部)
- P32 慢性呼吸器疾患患者会「あおぞら会」における薬局  
薬剤師の役割～多職種連携によるパンフレット作成を  
通して～  
○藤田 光希, 野藤 なつみ, 舩甚 路子(大野あけぼの  
薬局)

### III：薬局に関する分野

- P33 ジェネリック医薬品の使用推進にむけた取り組み  
○坂中 清香, 関根 郁美, 山崎 英恵, 秦野 和樹,  
品川 敬之, 杉浦 伸哉(株式会社スギ薬局)
- P34 患者経験の相違による服薬指導、薬剤師、薬局に  
対する評価モデルの検討  
○櫻井 秀彦(北海道薬科大学)
- P35 制度が求める薬局機能と薬局管理学の構築  
○渡辺 朋子(東邦大学薬学部 臨床薬学研究室),  
Bachynsky John(Faculty of Pharmacy and Pharmaceutical  
Sciences University of Alberta), 大谷 勇作(医療環境  
情報研究所), 串田 一樹(昭和薬科大学)
- P36 演題取り下げ
- P37 Yahoo! 知恵袋における調剤報酬に関連した質問内容  
の分析  
○川合 由起, 福島 紀子(慶應義塾大学薬学部社会  
薬学講座)
- P38 医薬分業バッシングの中、保険薬局薬剤師のあり方を  
考える  
○谷 博子(臨床薬学懇談会)

- P39 一般用医薬品第1類の販売に関する実態調査—新制度  
経過後4年間の検証— ○大鷹 美紀, 辻 明里, 寺田 綾子, 中村 美樹(昭和  
薬科大学), 上鶴 裕, 渡邊 啓司, 小松 正典((株)CFS  
コーポレーション), 串田 一樹(昭和薬科大学)
- P40 地域に求められ、信頼される薬局・薬剤師像を探る  
—安全で質の高い医療を提供する医薬分業をめざして— ○宮地 典子(株式会社エイトライフ, 新医協・薬学関連  
領域部会), 沖山 敏子(新医協・薬学関連領域部会),  
小池 盛明(けやき薬局, 新医協・薬学関連領域部会),  
立岡 雅子(ひかわ調剤薬局, 新医協・薬学関連領域  
部会), 田中 秀明(株式会社栃木保健協働, 新医協・薬学  
関連領域部会)
- P41 精神科処方に対する服薬指導時間と薬局機能 ○大内 香織, 一条 直, 神奈川 博(株式会社医薬品  
情報センター), 斎藤 俊昭, 上田 條二(青森大学  
薬学部), 串田 一樹(昭和薬科大学)

#### IV：地域医療に関する分野

- P42 薬局・ドラッグストアでのツールを用いた接客の生活者  
満足度因子の検証 ○山根 有香子, 中 雄介, 川口 祐司, 中野 翔太,  
恩田 光子(大阪薬科大学臨床実践薬学研究室)
- P43 薬剤師の在宅患者訪問業務の内容とアウトカムとの関連 ○藤井 真吾, 恩田 光子, 平野 章光, 春日 美香,  
高田 百合菜, 正野 貴子, 下村 真美子(大阪薬科大学  
臨床実践薬学研究室), 七海 陽子(アドバンス・ファーマ  
リサーチオフィス), 荒川 行生(大阪薬科大学 臨床実践  
薬学研究室), 今井 博久(国立保健医療科学院)
- P44 薬剤師と福祉職の連携による新しい居宅療養管理指導  
の試み(第2報)—福祉職を対象とした薬の研修会の  
提供による問題点の改善— ○飯田 耕太郎(名城大薬), 水野 正子, 渡辺 優美,  
水野 紀子, 中村 友理(チューリップ薬局平針店),  
野原 葉子(チューリップ薬局大高店), 東 茂生,  
山田 靖子((株)エル・シー・エス), 鈴木 匡, 藤井 聡  
(名市大院薬)
- P45 住み慣れた地域に在宅医療環境を整えるための医療  
及び看護・介護職と薬剤師の連携強化に関する研究  
(その1) ○小島 尚, 定村 美紀子(帝京科学大学医療科学部),  
西澤 啓子, 浅見 恭史, 少路 芳子, 霜越 千裕(足立区  
薬剤師会), 馬場 園明(九州大学大学院医学系学府)
- P46 在宅医療に関わる薬剤師の患者に対する直接接行爲  
への法的妥当性の認識と抵抗感について ○菊地 真実(早稲田大学大学院人間科学研究科,  
ふくろう薬局), 辻内 琢也(早稲田大学人間科学学術院)
- P47 薬局製剤の取り組みと課題 ○朝倉 章詔, 中武 祐子, 宇都宮 励子(あおぞら薬局),  
稲垣 真弓, 廣田 憲威(大阪ファルマ・プラン)
- P48 薬剤師と自殺予防～”つなぎ”の現状からゲート  
キーパーとしての薬剤師の役割を考える～ ○三田村 俊宏(東京薬科大学薬学部 社会薬学  
研究室), 嶋根 卓也(国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 薬物依存研究部), 阿部 真也,  
吉町 昌子, 後藤 輝明(株式会社ツルハ 調剤運営  
本部), 宮本 法子(東京薬科大学薬学部 社会薬学  
研究室)

- P49 薬局として多死社会を支えるために～薬局の機能分化を考える～  
○前田 桂吾(株式会社フロンティアファーマシー), 串田 一樹(昭和薬科大学), 賢見卓也((株)トロッパス), 白石丈也(けやき薬局), 西川満則(国立長寿医療研究センター), 川越厚(クリニック川越)
- P50 コミュニティファーマシーモデルの検証  
○布留川 浩之, 戸村 仁, 藤掛 直樹(株式会社 千葉薬品)
- P51 保険薬局における健康づくりの活動「ヘルスチャレンジ」  
○中村 ほなみ, 吉岡 優子, 青山 知子, 勝又 貴子((有)静岡健康企画 たまち薬局)
- P52 在宅業務における医療従事者間の連携～夕張在宅研修から学んだこと～  
○橋本 和尋(調剤薬局ツルハドラッグ旭川日赤前店), 阿部 真也, 高野 紀子, 吉町 昌子, 後藤 輝明(ツルハ調剤運営本部)
- P53 在宅療養薬剤師支援研修会の連続実施の評価及び薬剤師の意識変化  
○廣谷 芳彦, 原口 清美, 榎本 和加子, 浦嶋 庸子, 名徳 倫明(大阪大谷大学薬学部臨床薬剤学講座)
- P54 地域医療連携支援システムにおけるお薬手帳データの活用  
○岡崎 光洋, 栗澤 一聖(北海道薬科大学社会薬学系医薬情報解析学分野)
- P55 市販の便秘薬購入時における薬剤師による服薬指導の有用性  
○柴田 佳太, 松本 亜里沙, 中川 歩美(昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部部門), 小田中 友紀(昭和大学 薬学部 物性解析薬学講座 臨床分析化学部門 (分析センター)), 藤田 吉明(昭和大学 薬学部 薬物療法学講座 薬剤学部部門), 赤川 圭子(昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部部門), 中村 明弘(昭和大学 薬学部 薬物療法学講座 薬剤学部部門), 山元 俊憲(昭和大学 薬学部 薬物療法学講座 臨床薬学部部門)
- P56 北海道のがん在宅医療を推進するための課題と対策～他地域の先進的取り組みとの比較検証～  
○守矢 和晃, 野呂瀬 崇彦(北海道薬科大学 薬事管理学分野)
- P57 地域在住高齢患者における服薬観の形成には何がか関与しているのか?[第一報]  
○平林 穰, 岸本 桂子(慶應義塾大学 薬学部 社会薬学講座), 高山 美智代(慶應義塾大学病院予防医療センター), 新井 康通, 広瀬 信義(慶應義塾大学医学部 老年内科), 福島 紀子(慶應義塾大学 薬学部 社会薬学講座)
- P58 地域在住超高齢者の服用薬の特徴と polypharmacy  
○岸本 桂子(慶應義塾大学薬学部社会薬学講座), 新井 康通(慶應義塾大学医学部老年内科), 高山 美智代(慶應義塾大学医学部予防医療センター), 広瀬 信義(慶應義塾大学医学部老年内科), 福島 紀子(慶應義塾大学薬学部社会薬学講座)
- P59 在宅医療における薬物治療の共同管理  
○川田 侑奈, 串田 一樹(昭和薬科大学 医薬情報評価教育串田研究室)



- P60 「都市型の看護介護医療等連携研究会」問題点の抽出 ○榊原 幹夫, 金井 哲治, 佐野 けさ美, 杉野 博子, 蜷川 晴美, 横田 香代, 杉浦 昭子(杉浦地域医療振興財団 事務局)
- P61 在宅訪問同行を通して終末期の患者から学んだこと ○古野 桜子, 串田 一樹(昭和薬科大学 医薬情報評価教育串田研究室)

#### V：公衆衛生活動に関する分野

- P62 小学生での薬育受講経験が中学生の薬の理解と行動に与える影響の評価 ○酒井 理紗, 岸本 桂子, 福島 紀子(慶應義塾大学薬学部社会薬学講座)
- P63 喫煙患者の禁煙意志ステージに関する質問票の作成 ○川上 由佳, 井上 正貴, 石田 紗智子, 新井 裕訓, 品川 敬之, 杉浦 伸哉(株式会社スギ薬局)
- P64 地区薬剤師会活動から薬物乱用防止運動を考える ○安田 一郎(東京薬科大学薬学部), 小島 尚(帝京科学大学医療科学部), 篠木 嘉幸, 小林 由美子, 宮澤 一成(玉川砧薬剤師会)
- P65 薬物乱用に対する薬学生の認識と教育効果の評価 ○齋藤 百枝美, 村上 勲, 厚味 巖一, 土屋 雅勇, 夏莉 英昭(帝京大学薬学部)
- P66 農薬検出事例に見る地方衛生研究所の健康危機管理における役割 —不審死した野鳥からの農薬検出— ○甲斐 茂美, 宮澤 眞紀(神奈川県衛生研究所), 小島 尚(帝京科学大学)
- P67 女子薬学生(1年生)の喫煙および飲酒行動・意識 ○中村 武夫, 伊藤 栄次(近畿大学 薬学部), 田村 隆教(高知学園短期大学)

#### VI：安全に関する分野

- P68 「イレッサ薬害」は予見できた—最高裁判決「(上告棄却理由)からの考察— ○片平 洸彦, 榎 宏朗(新潟医療福祉大学大学院), 寺岡 章雄(医薬情報センターあさひ), 小池 盛明(けやき薬局), 宮地 典子((株)エイトライフ)
- P69 個人輸入による医療用循環器系作用薬の適応外使用における問題点 ○大塚 邦子(横浜薬科大学 感染予防学研究室, 昭和大学医学部 臨床薬理学部門), 安原 一, 内田 直樹(昭和大学医学部 臨床薬理学部門), 細野 哲司, 鈴木 啓太郎(横浜薬科大学 感染予防学研究室), 小林 真一(昭和大学医学部 臨床薬理学部門)
- P70 米国食品安全強化法への日本企業の対応に関する調査(1) ○中村 幹雄(鈴鹿医療科学大学薬学部)
- P71 HPV(ヒトパピローマウィルス)4 価ワクチンの副作用 —米国 CDC の VAERS 7 年間のデータベースから— ○土屋 葉子(早稲田大学人間科学研究科), 町田 和彦(早稲田大学人間科学学術院), 片平 洸彦(新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科)
- P72 高齢者のベンゾジアゼピン使用は認知症リスクと関係があるか? —認知症治療薬とベンゾジアゼピン系薬剤の処方動向調査— ○山本 幸代(有限会社 フレンズ調剤薬局)

- P73 痙攣誘発物質による中毒事故とその防止策の検討  
-カンフル含有医薬品の現状と中毒症例の文献的評価-  
○藤田 和馬, 福本 真理子(北里大学薬学部臨床薬学  
研究・教育センター中毒学研究室), 山中 龍宏(緑園  
こどもクリニック)

#### VII: 法律・制度に関する分野

- P74 医事関係訴訟における最終確定結果についての調査  
研究  
○平賀 秀明, 秋本 義雄(東邦大学薬学部医療薬学  
教育センター薬事法学研究室)
- P75 裁判例から考える薬剤師の役割-1医薬品の副作用に  
よる健康被害と適正使用  
○飯野 朗子, 住谷 弥奈, 土田 裕子, 針ヶ谷 望,  
秋本 義雄(東邦大学薬学部薬事法学研究室)
- P76 裁判例から考える薬剤師の役割-2患者が選択する  
医療と薬剤師  
○土田 裕子, 飯野 朗子, 住谷 弥奈, 針ヶ谷 望,  
秋本 義雄(東邦大学薬学部薬事法学研究室)
- P77 裁判例から考える薬剤師の役割-3健康食品による健康  
被害と薬剤師の情報提供  
○針ヶ谷 望, 飯野 朗子, 住谷 弥奈, 土田 裕子,  
秋本 義雄(東邦大学薬学部薬事法学研究室)
- P78 裁判例から考える薬剤師の役割-4食物アレルギー  
への対応と学校薬剤師  
○大橋 綾子(株式会社健栄 みずき薬局成田店),  
秋本 義雄(東邦大学薬学部薬事法学研究室)
- P79 裁判例から考える薬剤師の役割-5てんかん患者による  
交通事故と薬剤師  
○秋本 義雄(東邦大学薬学部薬事法学研究室)
- P80 チーム医療における薬剤師の責任に関する考察  
○山本 大介, 鈴木 順子(北里大学薬学部)
- P81 「薬剤師の経過観察によって、どこまで患者の安全を  
確保できるのか」-臨床検査値の変動から副作用の  
危険性を読み取る-  
○宮本 法子(東京薬科大学 薬学部), 秋本 義雄  
(東邦大学 薬学部)
- P82 薬剤師のプロフェッショナルリズムと医薬分業 -患者に  
真に役立つ医薬分業実現を願って  
○寺岡 章雄(東京大学大学院薬学系研究科医薬  
政策学)
- P83 アメリカ薬系大学の SNS 利用ガイドラインにおける  
プロフェッショナルリズム  
○田中 元, 岸本 桂子, 福島 紀子(慶應義塾大学  
薬学部社会薬学講座)
- P84 医薬品等の安全性確保に関する小察  
○鈴木 順子, 山本 大介(北里大学薬学部)

#### IX: その他

- P85 医事会計システムを利用した分子標的薬の医療経済に  
与える影響の検討  
○渡辺 暢, 荒川 一郎(帝京平成大学薬学部薬学科),  
太田 かおり, 松林 大輔(メディカル・データ・ビジョン  
株式会社), 白神 誠(日本大学薬学部薬事管理学  
研究室)
- P86 ボグリボース口腔内崩壊錠の製品間における品質  
ならびにインタビューフォームの比較検討  
○久保 儀忠, 伊東 彩奈, 金谷 勇生, 金子 友紀,  
信田 美和子, 雛形 麻理子, 堀切 あゆみ,  
渡部 ことみ, 八木 直美(北海道医療大学薬学部)
- P87 福島原子力発電所事故時の安定ヨウ素剤に関する  
薬剤師の経験と今後の課題  
○功刀 恵美子(ぶらんとん薬局ささや), 遠藤 きよ子,  
高橋 まり子(ぶらんとん薬局), 野口 和孝(小名浜生協  
病院), 佐藤 政男(元徳島文理大学薬学部)

- P88 訪問薬剤管理指導実施による残薬削減効果の検証 ○佐藤 弘希(株式会社ファーマダイワ), 中尾 侑加, 長峰 慎之介, 石中 博昭(南熊本調剤薬局), 緒方 雪乃(あんず薬局), 榎本 洋平(はままち薬局), 青木 淳子(レインボー薬局), 岡山 善郎(株式会社ファーマダイワ)
- P89 マラウイ国のきれいな病院プログラム ○荒木 京子((有)アールディーアイ)
- P90 高齢者への服薬コンプライアンス低下に影響を及ぼす要因～SCATを用いた質的分析によるアプローチ～ ○田中 佑季, 野呂瀬 崇彦(北海道薬科大学薬事管理学分野)
- P91 在宅医療における倫理的諸問題に関する文献的考察 ○平澤 伸一郎, 串田 一樹(昭和薬科大学)
- P92 平成 25 年度 日本社会薬学会九州支部設立記念講演会・第一薬科大学薬剤師生涯学習講演会参加者アンケートの解析 ○小武家 優子(第一薬科大学 臨床薬学講座 社会薬学分野), 湯川 栄二(第一薬科大学 臨床薬学講座 実務実習教育センター), 入倉 充(第一薬科大学 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野), 下園 拓郎, 飯盛 恵美子, 大光 正男(第一薬科大学 臨床薬学講座 実務実習教育センター), 廣村 信, 山元 誉子(第一薬科大学 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野), 入江 徹美(熊本大学大学院生命科学研究部), 吉武 毅人(第一薬科大学 臨床薬学講座 社会薬学分野)
- P93 新入社員教育を通して考察した6年制薬学教育の現実と課題 ○田沼和紀(株式会社カメガヤ), 串田一樹(昭和薬科大学)